



「見たり、聞いたり、探ったり」No.254

通算 No.405

青木行雄

時代をみつめて

日本人のマスターズ挑戦から85年
悲願のマスターズ(米国マスターズ・トーナメントゴルフ大会)制覇
「松山英樹」という幸運な男
(2021年(令和3年)4月11日)

松山英樹選手、マスターズ優勝おめでとうございます。

悲願の海外メジャー大会初制覇を成し遂げ(本人の言葉)“強い気持ちを持つこと、耐えること、迷いをなくすこと、仲間を、自分を信じること、最終日の激闘の中でも自分を見失わず”日本人初の栄冠を掴みとる姿に、たくさんの勇気と努力に感動しました。

日本人選手にとって、それは超えられない壁だった。とてつもなく、偉大で厳格で高い高い壁だった。初めてメジャーに挑戦してから10年、忍耐と努力を惜しまないひたむきな姿と、世界に挑む強い心で「松山選手」はついにその壁を乗り越えた。コロナ禍の中で、またこれから始まる新しい挑戦に心から頑張っしてほしいとエールを送りたいと思います。

そして2021年4月30日、首相官邸にて、菅義偉首相より、「内閣総理大臣顕彰」を授与された。おめでとうございます。

ゴルフの祭典、マスターズ・トーナメント(米ジョージア州オーガスタナショナルGC)を「松山英樹」が制し、これまで優勝の空白地域だったアジアに勝利をもたらした。日本の男子選手が4大メジャー大会を勝つのも初めてである。歴代の日本選手が何回となく何十人となく、アジアのプロまでも挑戦してきた。日本の有名人では中村寅吉、尾崎将司、青木功、中嶋常幸、丸山茂樹等々も優勝は出来ていない。

松山英樹は2011年(平成23年)にアマチュアで初出場を果たし、日本人初のローアマ(アマ最上位)を獲得して、マスターズ10年後にメジャー初優勝という宿題の大偉業を成し遂げたのである。



グリーンジャケットをまとい喜ぶ松山英樹選手

初回から10回目の出場で、ついに栄光のグリーンジャケットに袖を通した松山が言う「僕が日本でナンバーワンかどうかはわからないが、今まで勝てなかったメジャーに勝ったのは事実で、日本人にはできないと思われてきたけれど、僕が勝ったことで日本の若い子たちが変わっていくのではないか。」

マスターズは独自の歴史を誇る大会である。他のメジャー大会(全米プロ選手権、全米オープン、全英オープン)と異なる特徴は、創設以来ずっと同じコースで開催されていること。1934年(昭和9年)、「球聖」の名を冠して呼ばれるボビー・ジョーンズが、自ら造ったオーガスタのコースに世界中の腕自慢を集めようと創設した大会が始まりだったという。

優勝者には来年以降の大会に出場する永久シード権が与えられる。優勝者に贈られるグリーンジャケットは同GCの公式服、限られたセレブリティ(名士)だけが名を連ねる同コースのメンバー入りも許される。

ゴルフの「聖地」を競技発祥の英国セントアンドルーズ・オールドコースとするなら、このオーガスタは米国人ゴルファーの心のふるさと。米国人が大切にしてきた記憶の宝箱といえようか(こんな記事もあった)。毎年4月の第2週の週末に繰り広げられてきた名勝負の数々を、コースを飾る色とりどりのツツジの花と「パトロン」と呼ばれるギャラリーが見守った。このコロナ禍の中、写真に見られるように大勢の人が松山のプレーを見守ったようである。

1950年代から60年代にかけてこの地で4勝したアーノルド・パーマーの、リスクを顧みない攻撃的ゴルフは「アニーズ・アーミー」という熱狂的なファンを生み、テレビの普及とともにゴルフをメジャースポーツに押し上げたのである。

この大会最多の「帝王」、ジャック・ニクラスは、最後に飾った6勝目は46歳2か月で成し遂げ、「ジャック・イズ・バック」の声がオーガスタの谷にこだましたという。

そして日本でも人気のあるお馴染みのタイガー・ウッズ。交通事故で車は大破し、命はとりとめ大丈夫なようだったが、このウッズ、ニクラスに次ぐ大会に5勝もしている。やはりすごいプロ選手といえる。

甲子園を目指す高校球児に似て、オーガスタという不動の舞台が米国を象徴する名選手、名勝負の記憶と結びつき、世界中のゴルファーが「あそこに立ちたい、プレーがしたい」と思う人は数しれない。松山もその一人であった。



前年の優勝者ダスティン・ジョンソン氏よりグリーンジャケットを着せてもらう。(優勝者に前年の優勝者がグリーンジャケットを着せるのが通例)



優勝カップを受けてご満悦の松山英樹選手

日本人の初参戦は1936年(昭和11年)の第3回大会からといわれる。当時パンチショットで有名な戸田藤一郎氏と台湾出身の陳清水氏へB・ジョーンズから招待状が届いたのが始まりで、その後戦争の空白があり、1958年(昭和33年)中村寅吉氏が大会に参加した。世界の壁は高くその時41位であったという。その後、1973年(昭和48年)尾崎将司氏が挑戦後、出場19回で最上位8位に、青木功氏出場14回、中嶋常幸氏同11回。日本のゴルフプロ界が誇る「AON」が挑戦するも厚い高い壁にはね返されてきた。ところがこの厚い厚い壁を松山英樹は乗り越えた。

この大会の前週に決勝ラウンドが行われたオーガスタナショナル女子アマにて、滝川二高(兵庫県)の梶谷翼が優勝、2021年(令和3年)のオーガスタは男女ともに日本が勝った年として記憶されるだろうと大きく米紙に記されたようだ。

4大メジャー大会の女子部内では樋口久子選手が1977年(昭和52年)に全米女子プロ選手権で優勝し、2019年(令和元年)には、渋谷日向子選手が全英女子オープンで優勝している。しかし、今まで男子は厚い壁に阻まれ続けてきた。

ところが松山選手がその壁を打ち破ったのである。早くから米ツアーを見据えて肉体を鍛え上げ、定評あるアイアンショットに磨きをかけた。近年は不調に苦しんでいたが、豊富な練習量に裏打ちされた確かな技術で、栄冠をたぐり寄せた。

今回の優勝は日本人もメジャーに勝てることを証明した。女子は若い世代が躍動している。松山選手の活躍と次世代の台頭にも期待したい。

松山英樹のメジャー全成績

(メジャー4大会)

	マスターズ	全米オープン	全英オープン	全米プロ
2011年(平成23年)	27位	不	不	不
2012年(平成24年)	54位	不	不	不
2013年(平成25年)	不	10位	6位	19位
2014年(平成26年)	予選落ち	35位	39位	35位
2015年(平成27年)	5位	18位	18位	37位
2016年(平成28年)	7位	予選落ち	予選落ち	4位
2017年(平成29年)	11位	2位	14位	5位
2018年(平成30年)	19位	16位	予選落ち	35位
2019年(令和元年)	32位	21位	予選落ち	16位
2020年(令和2年)	13位	17位	中止	22位
2021年(令和3年)	優勝			

マスターズ制覇までの松山の歩み

1992年(平成4年)2月25日 松山市に生まれる

1996年(平成8年) 4歳の時、父幹男さんに勧められゴルフを始める

2009年(平成21年)8月 日本ジュニア優勝

2010年(平成22年)	東北福祉大学進学
2010年(平成22年)10月	アジア・アマチュア選手権優勝 マスターズ出場権獲得
2011年(平成23年)4月	マスターズ27位タイ。日本人史上初のベストアマチュアに
2011年(平成23年)11月	三井住友VISA太平洋マスターズで日本ツアー史上3人目のアマチュア優勝
2013年(平成25年)4月	プロ転向 プロ第2戦のつるやオープンで初勝利、プロ転向初年度に国内賞金王
2014年(平成26年)6月	メモリアル・トーナメントで米ツアー 2勝目
2015年(平成27年)4月	マスターズで5位
2016年(平成28年)2月	フェニックス・オープンで米ツアー 2勝目
2016年(平成28年)10月	HSBCチャンピオンズで米ツアー 3勝目
2017年(平成29年)2月	フェニックス・オープンで米ツアー 4勝目
2017年(平成29年)6月	日本男子メジャー最高成績の全米2位
2017年(平成29年)8月	ブリヂストン招待で米ツアー 5勝目
2018年(平成30年)1月	トーナメント・オブ・チャンピオンズ4位
2019年(令和元年)10月	米ツアー日本初開催の2020チャンピオンシップ2位
2020年(令和2年)11月	ヒューストン・オープン2位 マスターズ・トーナメント13位
2021年(令和3年)4月	マスターズ・トーナメント優勝

昨年2020年(令和2年)のこの大会は新型コロナ感染拡大のため史上初めて4月開催のところ11月に無観客で行なわれたという。今大会はコロナ禍の中ではあったが制限付きで4月例年通り観客を入れて開催された。

2021年(令和3年)4月8日、開幕したこの男子ゴルフのメジャー大会、マスターズ・トーナメント第一ラウンド、10度目の出場となった松山英樹1イーグル、2バーディー、1ボギーの3アンダーで首位と4打差の2位につけた。ジャスティン・ローズ(英)が7アンダーで首位、昨年優勝したダスティン・ジョンソン(米)は2オーバーで30位となった。

この大会に出場したのは88人でスタート、初日にアンダーパーで回ったのは12人であり、60台は3人だけであった。大変難しいコースコンディションの中、松山英樹は「69」をマークし、自己最高の2位でスタートを切ったのである。

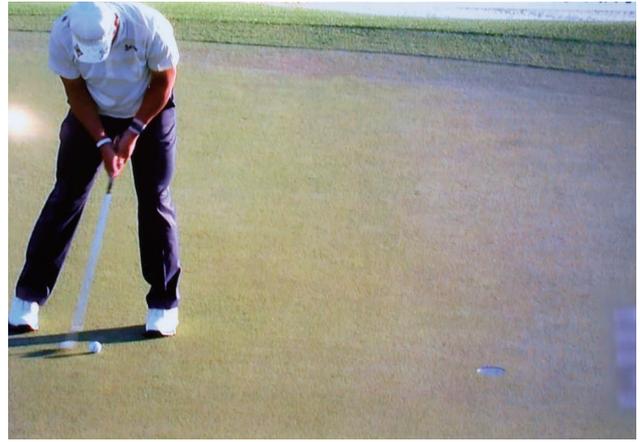
選手泣かせの要因は晴天続き日が多かったのか球足が速く、止まらないグリーンであったようだ。8年連続10回目の出場の松山も、「ここまで硬く、乾いたグリーンは初めてで戸惑った」という。



松山英樹ショット後の姿、満足のアイアンショットか



バンカーショット後の様子。「パトロンといわれるギャラリー」が見守る中、ナイスショットを見せる



松山のパッティング



ラフから打った後の様子。ボールの行方をキャディーと見守る



大勢の観客(パトロンといわれるギャラリー)が見守る。バンカーホールにて

第2ラウンド2位で出た松山英樹は1イーグル、2バーディー、3ボギーで通算4アンダーに伸ばし、首位と3打差で第3ラウンドへ。ジャスティン・ローズ(英)が7アンダーで首位に。連覇を狙ったダスティン・ジョンソン(米)は予選落ちとなった。

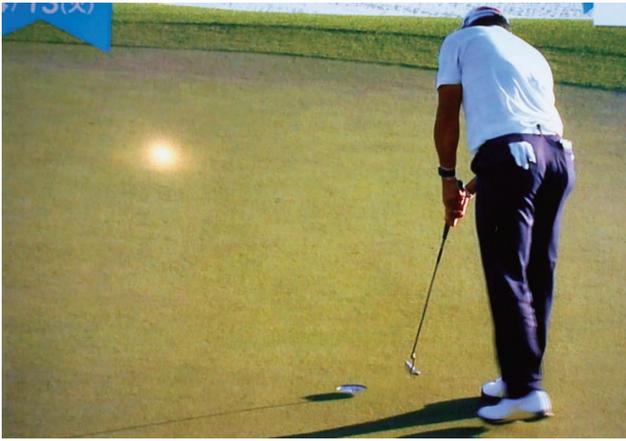
ダスティン・ジョンソン(米)まさかの予選落ち

昨年(2020年)の大会を20アンダーの最少記録で制したD・ジョンソンが、まさかの予選落ちを喫した。5番パー4で3パットのダブルボギーをたたくなど、球足の読みづらいグリーンに苦戦し、後半に入っても4ボギーの大乱調、通算5オーバーの60位に沈み、「パターがすべてだ。3パットが多く、本当に上手くいなかった」と悔しそうだったと記されている。

第3ラウンドで首位におどり出た松山英樹、2位と4打差の首位の成績であった。

そして最終ラウンドに進んだ松山英樹は朝から緊張は隠せなかった。

「この3日間、良く頑張って最終ラウンドでトップにいるのは自分なんだ。最後の18ホールまでやり遂げよう」と自分に言いきかせての出足であったというのが、1番スタートのティーショットはいきなり右の林に入れ、ボギースタートとなった。



パッティング。
ガラスのグリーンと言われるコースでのショット



最後のパッティングの様子か？

2番はパー 5、第1打は快心の323ヤードショットでフェアウェーに落とした。このホールをバーディーとして取り返すと、8、9番でも連続バーディーを奪った。

勝利が近づいたと思った途端、ピンチが訪れた。15番パー 5。2オンを狙ったアイアンショットがグリーンを超えて池へポチャン。

しかし、ライバルの不調もあり、脱落を横目に松山は最終18番の第1打もドライバーを力強く振り抜いてフェアウェーに落とし、ひるまず前進した。最後はボギーとなり、終わってみれば2位とは1打差だったものの、ライバル実力者たちを見事に振り切って優勝にこぎつけたのである。

マスターズ覇者の証し、グリーンジャケットに袖を通した松山が、セレモニーを見守る観客に語りかけた。「オーガスタナショナルでここ(表彰式)に立てることを大変うれしく思う」自身も、そして日本男子界の悲願だったメジャー制覇を成し遂げ、テレビを見る我々までも万感の思いがこみ上げて来た。

松山英樹 各ホールの成績																					
(◎ イーグル、○ バーディー、△ ボギー、無印 パー)																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	(アウト)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	(イン)	合計
パー	4	5	4	3	4	3	4	5	4	(36)	4	4	3	5	4	5	3	4	4	(36)	72
1日目		○						◎		(33)				○				△		(36)	69
2日目					△				○	(36)	△			◎		○	△			(35)	71
3日目							○			(35)		○	○			◎	○	○		(30)	65
4日目	△	○						○	○	(34)			△	○		△	△		△	(39)	73

2021年マスターズゴルフ 最終成績

①松山英樹		-10	278 (69・71・65・73)
②ザラトリス	(米)	-9	279 (70・68・71・70)
③スピース	(米)	-7	281 (71・68・72・70)
③シヤウフェレ	(米)	-7	281 (72・69・68・72)
⑤ラーム	(スペイン)	-6	282 (72・72・72・66)
⑤リーシュマン	(豪)	-6	282 (72・67・70・73)
⑦ローズ	(英)	-5	283 (65・72・72・74)

日本人選手の海外メジャー制覇とスコア

1977年(昭和52)	樋口 久子	全米女子プロ選手権	279 (-9)
2013年(平成25)	井戸木鴻樹	全米プロシニア選手権	273 (-11)
2019年(平成31)	渋谷日向子	AIG全英女子OP	270 (-18)
2021年(令和3)	松山 英樹	マスターズ	278 (-10)

松山選手がメジャー制覇し、帰国した。記者会見で、「日本に帰ってきて色々なニュースを見るたびに、すごいことをしたんだな〜と実感している」と心境を語っていた。

日本勢初出場から85年、たどりついた栄冠

マスターズの舞台に初めて出場したのは前にも記したが1936年(昭和11)から、戸田藤一郎氏を初めに33人の日本人が挑戦し、延回数133回、85年の年月がかかりやっと「松山英樹」がたどりついた栄冠である。



帰郷して記者会見する松山英樹選手
「日本に帰ってきて色々なニュースを見るたびに、すごいことをしたんだな〜と実感している」と話す

マスターズとはどんな大会なのか……。

1934年(昭和9)「球聖」ボビー・ジョーンズと実業家のクリフォード・ロバーツによって創設されたゴルフ場でアメリカ合衆国、ジョージア州オーガスタにあり、ボビー・ジョーンズ、アリスター・マッケンジーの設計による。

マスターズは「ゴルフの祭典」と呼ばれている。基本的には4月第2週に開催される。

どれくらい人気かという、チケットは世界で最も入手困難とされ、100年待ちと言われるほどで、大会ボランティアも6年待ちだという。

メジャーで唯一毎年同じコースで開催され、高速グリーンが有名。その速さから「ガラスのグリーン」と呼ばれている。特に11、12、13番では風の読みや地形、池などのコースづくりから難易度が高く、勝敗を左右する。神に祈らなければいけないほど難コースで「アーメンコーナー」ともいうらしい。

やはり気になる賞金はどのくらいか……。

優勝賞金は入場料やグッズ販売料による変動制らしいが、今回は207万ドル(日本円で約2億2700万円)。日本オープン優勝賞金4,200万円の約5倍という、大変な金額である。

また優勝すると優勝者は大会の終身出場権がもらえ「グリーンジャケット」が贈呈される。オーガスタ・ナショナルCGの名誉会員として、同コース内のみで着用することが許されるが、優勝者は翌年まで1年間はコースから持ち出すことが可能である。その後はチャンピオンズロッカーで保管される。また、歴代王者による恒例の夕食会「チャンピオンズディナー」に招待される。大会が開催される週の火曜に行なわれ、前年の優勝者がメニューを決めることになっている。そして他のメジャー3大会と米ツアーの5年間の出場権ももらえる。これだけでも優勝がいかに大変な事がわかる。

歴代の最多優勝者はニクラウス(米国)の6度が最多で、2位がタイガー・ウッズの5度、3位がパーマー(米国)の4度、一時「世界最強」と言われたグレグ・ノーマン(オーストラリア)は一度も入賞していないという。今回の松山英樹の優勝は日本人男子初のメジャー制覇で、アジア勢としてもマスターズ初優勝は、言葉では言いあらわせない程の大変な成果であり、すごい事である。

松山は2013年(平成25)プロに転向した年に国内賞金王となり、同年秋から米ツアーに本格参戦して、2014年(平成26)に初優勝、国内ツアー8勝、米ツアー6勝、男子ゴルフの世界ランキングが2021年4月11日発表され、松山英樹はマスターズ・トーナメントに優勝して25位から世界ランキング14位に浮上した。

ちなみに、世界の1位はダスティン・ジョンソン2位はジャスティン・トーマス(ともに米国人)3位はジョン・ラーム(スペイン)であった。

東京オリンピックの開会式聖火最終点火者の大役はまだ決まっていないが、この優勝者の松山英樹選手が最適だと私は思う。

2021年4月30日記

参考資料

日経新聞

読売新聞

スポーツニッポン

NHKテレビ